出張報告書 番号 DB22-030 作成日 会議議事録 2022年5月19日 部課名 認可 審査 作成 件名 2022年5月度 研究部部内会議 議事録 (**X** (11) 久野 研究部 2022年5月11日(水)13:00~14:30 6号応接室、4号応接室 觽 盽

6号応接室:研究部統括役員(速水専務)

研究部長 (水川)、研究 G長 (寺本)、材ラボ長 (久野)、知財 G長 (大矢)、寅屋敷、中務

4号応接室: 上荷、伊賀 滋賀工場: 小泉(Zoom)

※敬称略

### 議題、議事の趣旨、結論(決定事項・要処置事項)等

担当、期限

- 1. 共通
  - ・決定事項 なし
  - 議論概要
  - 1.2 コンプライス違反の件
    - ・交通ルール違反の件(4月20日 デスクネッツ掲載) [速水専務] 自転車・バイク通勤者に法令順守するように指導すること。
- 2. 各グループ報告
  - 2.1 研究グループ
    - 決定事項
      - ① 開発工数については、予算に対する消化率を見るだけではなく、効率面は問題ないかなど、 個別内容にまで踏み込んだ立場で見ること。工数不足ができない言い訳にならないよう、し っかりチェックすること
      - ② 他部門と仕事するときは当事者意識を持って積極的に取り組むこと。

#### • 議論概要

(1) 1) 【重要】 2021年度 全社研究開発実績まとめ

[速水専務] 人が足りないというのは部門が言っているのか、研究部の見立てか?

⇒ [寺本 G 長] 予算で立てられた工数に対して実際にその工数がかけられていないこと。また、ヒアリングでも開発以外の業務に時間が取られているという声があり、そう判断した。

[速水専務] 人が足りないというより、兼務が問題ではないのか?

うまくいかないというのは、その開発の優先度が低いからではないか?

工数の多寡より効率よくやる事が大切ではないのか?ICT はえらい少ないリソースでも効率よく成果を出している。

役員は研究部の提言を元に採用を考えている。コーポレート部門として客観的に見るだけでなく個別の課題に一歩踏み込んだ立場で見ること。

兼務についても一概に悪いというわけではない。例えば SPT では設計が受注品設計も開発品の設計も一手にやっていたが、分けたところ、非常に効率が悪くなり、開発品設計をしたがる人間が減ったので戻した。AM 開発については、多くの基礎データを取るために工数が必要というが、工数をかければいいということではなく、ちゃんとノウハウが溜まっていればよい。

2)【重要】2022年度研究開発予算

[速水専務] 人が増えるだけでできるというものではない。 できない言い訳にならないようしっかりチェックしていくこと。

# 配布先 研究部 総括役員 1 各出席者 9 計 10

## **CONFIDENTIAL**

7) 樹脂 3D プリンター活用支援

[寅屋敷 M] 導入して長期間経過して開発要素のないものに、ここまで報告時間をかける必要はないのではないか

- ⇒ [寺本 G 長] 今回は年度の纏めがあったので詳しく報告したが、次回からは検討する。
- (2) 1)営業部門との協働による新規事業創出

[速水専務] 他部門と一緒に仕事をするときは、自部門に割り振られた仕事をこなせばそれで終りではなく、オーナーシップ(自分がその仕事の主催する立場で考え行動すること。)の考えで、他部門の担当している仕事にも積極的に関与すること。

前例主義に陥らないようにすること。

- 2.2 材料・プロセスリサーチラボ
  - 決定事項
    - ① 無電解 Ni めっきの改善は何億もかかっていることを留意してすすめること。
    - ② 少ないサンプル調査で Si が不具合箇所で出たからといって、Si を含む磨き砂が原因と決めつけず、健全部にも Si はないか?磨き砂以外に Si が混入することは無いか、傍証も含めて調べること。

### • 議論概要

(1) 2) 表面処理プロセス支援研究(無電解 Ni メッキ)

[速水専務] 膨れ箇所以外では Si はないのか?また測定した N 数は何個か?

⇒ [久野 G 長] 膨れていない箇所の Si の有無については調査する。調査した膨れ箇所は3個 所。

[速水専務] 何億というビジネスに関係する研究であるということを自覚して思い込みだけで進めず、周辺データも取り傍証も集めて進めること。

⇒ 「久野G長」わかりました。

- 2.3 知財グループ
  - 決定事項
    - ① 輸出管理取引審査については、法務・コンプライアンスに是正を働きかける。
  - 議論概要
  - (6) 外為法(輸出管理)の件

[速水専務] 取引審査の社内規定は少し厳しすぎる。法令より厳しく事務手続きのために技術者がかなり労力をかけている。また、開発の専門家ではない人間が審査するので適切なアドバイスももらえずあまり意味がない。

⇒ [大矢 G 長] 住友各社にヒアリングするなど情報をそろえて、法務・コンプライアンス部門 是正するように働きかける。

※ 次回 2022 年 6 月度部内会議の資料担当は研究G長

以上.

関連文書類 2022年5月度 研究部 部内会議資料